

ユニオンフラッグベアラー レポート

試合日：2025/10/18(土)

対戦相手：Australia A



大役が決まったときは、どんな気持ちでしたか？

以前リーディング"フラッグ"ベアラーを務めさせていただいたことがあり、再び"このよう"な貴重な体験をさせていただけたことをとてもありがとうございました。今日はユニオンフラッグベアラーに選ばれたので、初めて行く大阪の大きなスタジアムで"大きな旗"を持ることをとても楽しみにしていました。本番が近づくにつれて緊張も高まりましたが、それ以上にわくわくしていました。

どんなことを体験しましたか？

私はオーストラリアのユニオンフラッグを持つことになり、他のユニオンフラッグベアラーの方々と一緒にオーストラリアの旗を掲げて登場しました。入場口からグラウンド上を歩き、両国の国歌齊唱のあいだにはメインスタンドのお客さんに旗が"し"かり見える所に旗を掲げていました。選手たちにと、これは非常に大切な旗なので、落とさず、美しく見える所頑張りました。

一番思い出に残っていることを教えてください。

"フラッグ"を運んで止まる位置が難しく、はじめは少し戸惑いましたが、何度も練習を重ねるうちに慣れてきて、失敗が少なくなっていました。これが嬉しかったです。私が"フラッグ"の基準の位置だったのですが、間違えないようしっかり練習して、褒めてからえて嬉しかったです。練習中に雨が降り出し、雨の中でリハーサルを行ったときは、水を吸った旗がとても重くなり驚きました。濡れると旗が"たるんで"しまい、きれいに見えないと"のトラブル"もありました。雨天用の動きの方も練習しました。本番の時には雨が"やみ、旗も乾いたので、万全の状態で"フラッグ"ベアラーとしての役目を果たすことが"できました"です。本番後に「完璧だった」と言つてもいい、とても安心しました。

今回の体験で、ラグビーに対する想いは変わりましたか？

体験した感想を教えてください。

私は今回、ユニオンフラッグベアラーとして、スタジアムの端の方に立っていたのですが、たくさんのお客様の熱気や近くに立っている選手たちの迫力を間近で感じることができ、ラグビーが本当に多くの人に愛され、人と人とつなぐ力を持った特別なスポーツだと実感しました。また、普段は入ることが"できない"スタジアムの裏側を見ることができ、試合が"成り立つ"ためには選手や観客だけではなく、運営スタッフなどサポートする多くの人たちの協力があることをあらためて感じました。今回の体験を通して、ラグビーの奥深さ、魅力にさらに気付くことができたと思います。ありがとうございました。

当日の思い出の絵を描いたり、写真を貼ってください。

